

# 広沢小だより

桐生市立広沢小学校  
学校通信

第5号 令和元年7月2日  
文責:萩原葉子 0277-52-2028

## 5年宿泊学習



令和元年6月13・14日に5年生の宿泊学習が行われました。天候にも恵まれ、予定されていた日程をすべて行うことができました。カヌー教室では、緊張しながらも仲間と協力して取り組む姿を見ることができました。はじめは、怖がっていた子どもたちもだんだんと慣れ、カヌー教室の後半では、梅田湖の真ん中で大きな声で「ヤッホー」と叫べるほどの余裕が生まれました。楽しい経験ができたと思います。キャンプファイヤーでは、「オクラホマミキサー」「マイムマイム」などを行い、みんなと心を一つに、思い出に残る時間を過ごしました。最終日の野外炊飯では、隠し味をグループで話し合い、各班オリジナルのカレーを作りました。今回の宿泊学習を通して、自然の偉大さを感じ、友だちと協力し合う大切さを学び、最後まで諦めずにやり抜くすばらしい経験することができたと思います。これからの生活に生かし、さらに大きく成長してくれることを期待しています。

令和元年6月13・14日に5年生の宿泊学習が行われました。天候にも恵まれ、予定されていた日程をすべて行うことができました。カヌー教室では、緊張しながらも仲間と協力して取り組む姿を見ることができました。はじめは、怖がっていた子どもたちもだんだんと慣れ、カヌー教室の後半では、梅田湖の真ん中で大きな声で「ヤッホー」と叫べるほどの余裕が生まれました。楽しい経験ができたと思います。キャンプファイヤーでは、「オクラホマミキサー」「マイムマイム」などを行い、みんなと心を一つに、思い出に残る時間を過ごしました。最終日の野外炊飯では、隠し味をグループで話し合い、各班オリジナルのカレーを作りました。今回の宿泊学習を通して、自然の偉大さを感じ、友だちと協力し合う大切さを学び、最後まで諦めずにやり抜くすばらしい経験することができたと思います。これからの生活に生かし、さらに大きく成長してくれることを期待しています。



## 4年認知症サポーター講座

6月28日（金）にキャラバンメイトの4人の方に来校していただき、4年生が認知症について学習しました。DVDやキャラバンメイトの方のお話や劇から「認知症は脳の病気であること」、「認知症の方へは、前から・ゆっくり・優しく声をかけること」を教えていただきました。4人に1人は、認知症あるいはその予備軍だと言われている。認知症の方もそうでない人も一緒に生きていくためには、みんなが認知症について正しく理解し、自分にできることは何かを考え、実行していく必要があります。いただいた冊子に書いてあった言葉が心に残りました。「**認知症サポーターとは、特別なことをする人ではありません。認知症の人を温かい目で見守ることのできる人をいいます。小学生のみなさんも、今日から認知症サポーターです。自分にできることを考えてみましょう。**」

6月28日（金）にキャラバンメイトの4人の方に来校していただき、4年生が認知症について学習しました。DVDやキャラバンメイトの方のお話や劇から「認知症は脳の病気であること」、「認知症の方へは、前から・ゆっくり・優しく声をかけること」を教えていただきました。4人に1人は、認知症あるいはその予備軍だと言われている。認知症の方もそうでない人も一緒に生きていくためには、みんなが認知症について正しく理解し、自分にできることは何かを考え、実行していく必要があります。いただいた冊子に書いてあった言葉が心に残りました。「**認知症サポーターとは、特別なことをする人ではありません。認知症の人を温かい目で見守ることのできる人をいいます。小学生のみなさんも、今日から認知症サポーターです。自分にできることを考えてみましょう。**」



本校では、けがや通院等やむを得ない場合を除き、原則**徒歩による登下校**(浜松家よりも太田側に自宅がある児童についてはおりひめバスの利用も可)をすることになっています。けが等の理由で、車での送迎が必要な場合は、担任に理由と期間を申し出ていただき、学校からは**校内自動車乗り入れ許可証**をお渡ししています。

しかし、許可証のない自家用車での送迎が見られ、駐車場が混みあっている時さえあります。児童と保護者の方の車が接触しそうな危険な場面も見られ、たいへん心配しています。まずは、できる限り、徒歩での登校をお願いします。また、学校の門の中は、子どもたち優先です。急遽やむを得ない理由で、自家用車での送迎をする場合も

**「敷地内徐行」「北門を出る時は、山側に左折」**を遵守していただき、児童が事故に巻き込まれないよう、十分に気を付けていただければと思います。また、路上や他の施設や店舗の駐車場で乗降も危険な上に、迷惑になりますので、ご配慮いただければと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 大丈夫ですか？ ゲーム機でのインターネットトラブル

お子さんは、ゲーム機を持っていますか？

インターネットに接続できる機器は、パソコンやスマホ、タブレットだけではありません。もしかしたら、お子さんが持っているゲーム機にも無線LANセンサーが内蔵されていて、インターネットに接続できる機能があるのではないのでしょうか。

ゲーム機をネットに接続するとゲーム以外の機能が使え、「通信対戦」や「ボイスチャット」「テキストチャット」「ゲームソフトのダウンロード」「サイトの閲覧」「メール」ができるといいます。とても、便利な反面、世界中のユーザーとつながることは大きな危険もあります。

- ゲームのチャットで、友だちの悪口を話したり、書き込んだことで、いじめや傷害などのトラブルに発展した。
- 出会い系サイトやアダルトサイト、非公式な裏サイトにアクセスしてしまった。
- 同世代の同性の子どもになりすました悪意を持った大人に自分の写真を送ったり、個人情報を教えてしまったりした。
- ゲームで勝手に課金したり、保護者のクレジットカードの情報を業者に伝えてしまったりした。
- ゲームをやめられず、夜中に布団の中でゲームをして睡眠不足となり、成績が落ちてしまった。 など、トラブルは絶えません。

児童を狙った悪意のある大人は、多くの児童が登録するサイトを狙い、自分のプロフィールを詐称して犯罪に及んでいるといいます。また、ネット依存症が増えている、そこから回復するのは容易ではないといいます。



## 家庭のルールを作り、子どもを守りましょう

大切なお子さんを守るためには、インターネットに接続する機器を与えないこと、使わせないことが一番です。でも、このネット社会の中では、一生使わせないということは難しいでしょう。また、既に使っている場合、一方的な禁止は、お子さんが内緒で利用する状況を作り出してしまいかも知れません。使わせるのであれば、保護者の方がインターネットの危険性を正しく理解した上で「いつ」「何を」「どんなルールで使わせるか」や「ルールの必要な理由」をじっくり親子で話し合ってください。保護者の皆さんの力で、お子さんをインターネットトラブルから守ってあげてください。

### ルールの例

- 個人情報、公開しない。教えない。
- 悪口は書き込まない。話さない。
- 見知らぬ人からの友だち申請を許可しない。
- 不適切な情報は閲覧できないようフィルタリング機能を使い、ブロックする。
- 使うのは、一日30分以内にする。
- 宿題をしてから、ゲームをする。
- ゲームのチャット機能は使わない。
- 課金はしない。
- 新しいゲームソフトをダウンロードするときは、親の了解を得る。
- 夜9時以降は使わない。
- リビングで使う。自分の部屋には持ち込まない。
- 食事中は、使わない。
- どんなことに使っているか、誰とつながっているのか、親が知っているようにする。